



▲岸田内閣総理大臣から仲宗根代表取締役への楯の授与

「株式会社沖縄U K A M I 養蚕」が
グランプリを受賞！



「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 選定事例の紹介

内閣官房及び農林水産省は、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定し、全国に発信しています。第9回となる今年度は、応募総数616件から33団体及び4名が選定され、その中でも最も優れた取組であるグランプリに、県内から「株式会社沖縄U K A M I 養蚕」(今帰仁村)が選定されました。グランプリ受賞は県内初となります。



▲シルクを加工したスキンケア商品

同社は、地域の生物資源「エリ蚕」から生産するシルクをスキンケア商品に加工、ブランド化して海外進出し、海外進出しており、飼料生産には荒廃農地を活用するほか、高齢者雇用や農業と福祉の連携にも積極的に取り組んでいます。

選定に係る有識者懇談会では、絹産業の非繊維分野への進出に加え、世界を視野に日本のシルクを地域から発信する非常に優れた取組であること、消費者視点での商品開発によ

り大きく成長するビジネスにできると期待されること、農福連携や高齢者の雇用等、地域や農業分野が抱える多くの課題の解決策を実践していることなどが評価されました。



▲就労支援事業所の利用者による繭の選別作業

令和4年12月19日(月)には、総理大臣官邸において選定証授与式及び交流会が開催されました。グランプリに輝いた同社の仲宗根代表取締役には岸田内閣総理大臣から楯が授与され、総理等の出席者に対して取組内容を紹介し、交流を深めました。

沖縄版には「南の島々から八重山(やいま)の味つたえ隊」を選定！

また、全国での選定事例以外にも優れた取組があることから、沖縄総合事務局では沖縄独自の特徴ある取組について、令和4年度「沖縄総合事務局『ディスカバー農山漁村(むら)の宝』」として、「南の島々から八重山(やいま)の味つたえ隊」(石垣市)を選定し、令和5年1月26日(木)に選定証授与式を開催しました。

同団体は、八重山地域の食材を活用した商品開発や販売、地産地消の取組等を通し、地域の食文化の伝承等に尽力しています。女性起業者である各隊員が6次産業化に取り組



▲選定証授与式の様子

み、地域のリーダーとして活躍しており、その経験を後継者育成や地域での食育活動等に活かしています。八重山地域の家庭で受け継がれてきた味を商品化する際には、時代に合せて新しい味となるよう工夫し、地域食材の新たな活用方法を見出しています。



▲地域食材を活用した加工品

お問合せ先

農林水産部 農村振興課

☎098-866-1652